

## 研究サマリー

### 「SOHOの知的活動を支援する環境デザインに関する研究その2 ーブース空間における植物が情報処理活動に与える影響ー」

東京電機大学 渡邊朗子

#### 1. 研究目的

知的生産委員会では知的生産性を3階層に分けており、「情報処理」「知識処理」「知識創造」としている。本研究ではSOHOで求められている個人の知的活動の基本的活動として「情報処理」について、個人の知的活動を支援する環境はどのようなデザインが好ましいか、空間を構成する要素として植物に着目し研究を行う。

また、これまで植物を用いた実験では置き型の植木鉢を用いた研究が多く、他の植物のデザインはあまり重要視されてこなかった。本研究では植物を用いたデザインとして壁面緑化に着目し、どのような植物のレイアウトが個人の知的活動に好ましいかも合わせて研究する。

本研究は個人の作業量による評価だけでなく、空間の印象評価SD法を用いる。また脳血流測定器を用いて近赤外分光法による脳科学手法により、脳の活性化を明らかにし個人に与える影響をより科学的に解明する。

#### 2. 研究方法

本研究では大きく二つに分けて検討を行う。

1つ目は知的活動を計測するための手法として用いる脳血流想定装置の測定実験である。実験には4種類のブースとして「植物ないブース」「小鉢2つのブース」「前面緑化ブース」「全面緑化ブース」を用意し、被験者には脳血流測定器を頭部に装着した状態で知的活動の課題に取り組んでもらう。

二つ目は知的活動の前後で行われるアンケート調査である。アンケートには被験者自身の疲労状態・気分状態の変化を記入するものと、ブース空間の印象評価を各形容詞の項目ごとに記入するものとする。

以上2つの調査から得られた結果を総合的に分析して、研究結果を導き出す。

#### 3. 研究結果

現在学会への論文投稿準備中であり、結果の詳細についての表記は現時点で差し控えることとするが、実験を通して有意義な研究結果が得られたことをここに報告する。論文の採用が決まり次第、研究結果の詳細について公表する予定である。